

にし わき でん さいくう西脇殿歴史フォーラム



「さいくう平安の杜」西脇殿

平安時代はじめの齋宮「寮庁」のようすを復元した「さいくう平安の杜」の3棟の建物。
そのひとつ「西脇殿」で、齋宮や地域の歴史・文化に触れ、感じ、学べる講座を開催します。

第1回 令和5年5月27日（土） 13時30分から14時30分まで

「方格街区の造営拠点を探る」（齋宮歴史博物館 小原雄也）

奈良時代後期から平安時代前期にかけて、齋宮では方格街区（ほうかくがいく）が整備されます。近年の発掘調査では、方格街区の外側で大型掘立柱建物跡群など、造営拠点と考えられる遺構が確認されました。今回は、方格街区の外側に焦点をあてて、方格街区造営の実態を探ります。

第2回 令和5年7月22日（土） 13時30分から14時30分まで

「齋宮寮庁の地で聞く齋宮寮のはなし」（齋宮歴史博物館 松田 茜）

齋宮寮は、伊勢・齋宮の地で暮らす齋王を支えた組織です。齋宮歴史博物館夏季企画展「齋宮・常設展示室Ⅲ 齋宮寮」（会期：7月8日～9月3日）の開催に合わせ、かつて齋宮寮庁が存在した、まさにその地で、成立や整備の歴史、組織、運営などの観点から、齋宮寮について解説します。

第3回 令和5年9月16日（土） 13時30分から14時30分まで

「もう一つの齋王・賀茂齋院の世界」（齋宮歴史博物館 笹田遥子）

平安時代には、平安京に近い賀茂神社に、新たに齋王が置かれるようになりました。この新しい齋王＝賀茂齋院とは、一体どんな存在なのでしょう。藤原道長や紫式部とも交流のあった齋院・選子内親王を中心に、知られざる賀茂齋院の世界を紹介します。

第4回 令和5年11月18日（土） 13時30分から14時30分まで

「奈良時代の齋宮をめぐる地域事情②－飯高諸高の活躍と飯高氏－」（齋宮歴史博物館 山中由紀子）

現在、発掘調査により奈良時代の齋宮中枢域の解明が進んでいます。奈良時代、都では現在の松阪地域の出身である女性・飯高諸高（いいたかのもろたか）が活躍していました。彼女の活躍の原動力を地域の歴史から探り、齋宮に与えた影響を考えます。

【会場】「さいくう平安の杜」西脇殿（多気郡明和町齋宮2800番地）

《電車でお越しの場合》近鉄齋宮駅 北側史跡公園口から右方向（伊勢側）にむかって徒歩3分

《お車でお越しの場合》伊勢自動車道玉城ICより車で約20分、松阪・伊勢市内より車で約30分

「さいくう平安の杜」東側の臨時駐車場、もしくは北側の「いつきのみや地域交流センター」駐車場をご利用ください。

【参加方法・参加費】 事前申し込み不要・先着60名様・参加費無料

（当日会場に直接お越しください。受付は各回とも13時から）

【主催】 齋宮歴史博物館

【協力】 明和町・公益財団法人 国史跡齋宮跡保存協会

【問い合わせ先】

齋宮歴史博物館 学芸普及課「さいくう西脇殿歴史フォーラム」係
〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

TEL：0596-52-3800（代表） FAX：0596-52-3724

E-mail：saiku@pref.mie.lg.jp

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/>

 齋宮歴史博物館

